

大学名：聖マリアンナ医科大

物理	解答時間：2 科目 150 分				
全範囲から標準的な問題が出題されている。時間配分に注意。				原子	波動
難易度	4 / 5		スピード	4 / 5	

設問別分析表

大問	区分	内容	解答方式	難易度
1	小問集合	(1)浮力(2)波動方程式(3)水素原子の線スペクトル(4)ボルツマン定数を使った状態方程式の問題。	空所補充	標準
2	力学	水平面に置かれたバネ振り子の問題。周期に気をつけて解くことが大事。標準的な問題でミスは要注意である。	記述	標準
3	電磁気	平行板コンデンサー内の電気力線、電界、力の問題。(1)を注意して解くことが最重要。ここでミスをするると全滅もある。問題文をよく読み、熟考して欲しい。	記述	やや難
4	原子	X線の発生の問題。原子の問題の練習量が問われている。教科書を読み、しっかり理解しておきたい問題。文字での解答なので時間も節約したい。	記述	標準
5	熱力学	比熱の問題。落ち着いてミスなく解きたい問題。計算も面倒ではない。	記述	標準

傾向と対策

ほとんど標準的な問題である。毎年、教科書の全範囲からもれなく出題されている。時間配分が難しいが、ミスなく解きたい問題ばかりである。ただ、それぞれの大問の(1)の問題のミスは命取り。しっかり読み取って他の問題に繋げたい。